わたしたちは 確かなものづくりを通して 豊かな社会の実現に貢献します

∄	次	株主の皆様へ・・・・・・・・1
		トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
		連結決算のご報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		単体決算のご報告・・・・・・・・・・8 営業の成果、部門別営業の成果 業績の推移 貸借対照表要旨、損益計算書要旨
		完成工事ハイライト・・・・・・・10
		会社の概況・・・・・ 11 商号、沿革、設立、営業種目 資本金、株式の状況 大株主の状況、株価の推移 取締役および監査役 執行役員 事業所 リゾート事業のご紹介 (パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ) (ホテル パサージュ琴海)

株主の皆様へ



代表取締役社長 水島 和紀

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第112期 (平成24年4月1日から平成25年3月31日) の株主 通信をお届けするにあたり、連結および個別決算を含め、会社の近 況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要による景気の下支えがあったものの、夏以降の世界経済の減速等により輸出や 生産が減少するなど、景気の先行きは不透明な状況にありました。

建設業界におきましては、補正予算措置により公共投資は堅調に 推移したものの、民間設備投資は回復の動きが弱く、年間を通じて

の受注環境は、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境の中、当社および当社連結子会社(以下「当社グループ」という) は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売を強化するとともに、コスト削減や業務の効率化に努めてまいりました。

今後のわが国経済は、政府の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」の政策効果等による 緩やかな回復が期待されますが、世界経済を巡る不確実性は依然として高く、景気を下押しす るリスクとして懸念されています。

建設業界におきましては、公共投資は関連予算の執行により底堅い動きが期待されるものの、民間設備投資の先行き不透明感や企業間の熾烈な受注競争等のもと、引き続き厳しい経営環境が予想されます。

このような環境の中、当社グループは、持てる技術力や機動力を発揮し、引き続き震災復興に全力で取り組むとともに、技術と経営に優れた企業集団として技術力の向上、営業力の強化、原材料価格上昇への適切な対応に努めるほか、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、舗装工事、土木工事、製品販売の収益基盤の一層の確立を進めるとともに、建築、開発、土壌浄化等の事業収益の安定化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上 げます。

平成25年6月

トピックス

分解微生物の力で土壌を効率よく浄化

高濃度酸素水注入型原位置バイオ工法

ベンゼンや油によって汚染された土壌を浄化するため、簡易薬液注入装置を用いて栄養塩*1や高濃度酸素水*2を地中に注入し、土壌中の分解微生物を活性化させて浄化する工法です。

水に溶けた酸素を注入するため、火災のリスクがなく、安全性が高いのが特長です。

- ※1 栄養塩:窒素、りん、カリウム、ミネラルなどを含む化合物です。
- ※2 高濃度酸素水:過酸化水素水に分解剤を加えて作ります。酸素を供給する目的で使用します。

特長

●高効率浄化

高濃度酸素水による微生物の 育成環境向上

●省力化

薬液を自動運転で注入

●薬液安定供給

薬液を均等・安定注入

●省スペース

コンパクトで狭小部や稼働中施設へ適用可能

●低騒音

市街地でも使用可能

●低環境負荷

農業用肥料など安全性の高い 薬剤を使用

ZOOM UP 簡易薬液注入装置の仕組み

栄養塩、過酸化水素水および分解剤を添加した水道水を 「薬剤混合槽」に供給します。薬液が一定量貯まると供給 が止まり、コンプレッサにより「薬剤混合槽」内を加圧 し、薬液が一定量、各注入井戸へ供給されます。これら の操作をタイマーにより制御することで、省力化を図っ ております。



概念図



簡易薬液注入装置

施工例

ガソリンスタンド敷地地下のベンゼンを浄化した施工例です。 汚染箇所が敷地境界近辺にあり、隣家に影響があるため、土留め(鋼矢板)設置、掘削除去ができませんでした。地下水を汲み上げて浄化(揚水工法)を試みましたが、環境基準値にはなかなか達しませんでした。

当工法を採用することにより、微生物数が4万個/mLから100万個/mL以上に増え、ベンゼンは約半年間で環境基準値以下となりました。





注目の工法・製品のご紹介

舗装の未来を考えた予防保全型維持管理システム

NIPPOのアセットマネジメント

NIPPOは、限られた予算の中で効率的に中長期の舗装の維持管理が行えるように支援する技術を確立しています。

NIPPOが保有する「芦ノ湖スカイライン」等で蓄積したノウハウを活用し、測定・評価から、計画・立案、補修まで、中長期的な舗装維持管理サイクルの確立をお手伝いする、道路会社ならではの支援技術です。



ZOOM UP 路面性状測定車「ロードスキャン」

交通規制をすることなく、道路を走行するだけで、ひびわれ、わだち掘れ、平坦性といった舗装表面の状況を迅速かつ経済的に測定し、総合的な評価を行うシステムです。不良箇所が判明する他、補修箇所の選定・計画にも活用することができます。

2012年12月の笹子トンネルの天井板落下事故以来、国や地方公共団体はインフラの総点検を進めており、通常速度で走行しながら検査が可能な「ロードスキャン」が活躍中です。



路面測定中の「ロードスキャン」

NIPPO 独自の技術で工期短縮・高品質・コスト削減を実現

NIPPOのコンクリート舗装

コンクリート舗装はコンクリート版を表層とする舗装をい い、一般に表層および路盤から構成されています。コンク リート版は、高い剛性を持っているので「剛性舗装」、また 外観が白色であることから「白舗装」とも呼ばれます。

NIPPOは、長年にわたって培ってきたコンクリート舗装技 術で、工期短縮、高品質、低コストを実現しています。

コンクリート版 (アスファルト中間層) 路盤

コンクリート舗装の断面

NIPPOの特長的なコンクリート舗装工法

●多機能な舗装機械で省力化・工期短縮 【スリップフォーム工法】

敷きならし、締固め、 平たん仕上げの3工程を 1台で行える特別な舗装 機械を使用することで、 スピーディーに舗装可能



な丁法です。特に大規模な丁事で省力化や丁期 短縮、コストダウンなどの効果を発揮します。

●中折れ式の舗装機械による2車線同時施工 【両勾配同時仕上げ工法】

従来、横断勾配の異な る2車線の舗装は1車線ず つ施工するのが一般的で す。本工法は道路の中心 で勾配を変える(中折れ



式) ことができる専用機械を用いることで、同 時に仕上げることを可能にしています。

舗装表面の温度上昇を抑制する、世界が認めた遮熱性舗装

パーフェクトクール

真夏の昼間における路面温度の上昇を約10℃以上抑 制するNIPPO独自の遮熱技術で、夏季の道路環境改善 や耐久性向上が図れる工法です。また、周囲環境に合わ せたカラーを選択することで、視認性改善による安全性 や景観性の向上を促すことができます。

国際道路連盟の世界道路功績賞やPIARC世界道路会 議最優秀革新賞を受賞した、世界に誇る技術です。



遮熱塗料「ミラクール」 ZOOM UP

ビルや工場、倉庫などの屋根に塗るだけ で、最大40%の節電効果を発揮する遮熱塗料 です。夏の強烈な日差しをはね返すことで、 室内温度の上昇を抑制します。そのため、冷 房費用の削減、暑熱環境の改善、倉庫内資材 の品質保護等の効果があります。

